里の元気フォーラム

里山里海湖研究所研究員の活動発表や里山ビジネスの実践事例の紹介などを通じ、里山里海湖の保全と新たなビジネス創造につなげるためのフォーラムを開催しました。

１　日　時　平成２７年３月７日（土）１０：００～１６：００
２　場　所　県立三方青年の家（若狭町鳥浜）
３　参加者　１８０名
４　内　容

（１）第一部　里山里海湖研究所研究員の活動発表

里山里海湖研究所の研究員が、これまで活動してきた内容について発表を行いました。各研究員の発表テーマは以下のとおりです。

中村研究員（里地里山文化）:「福井の「多様」な魅力をさぐる」
石井研究員（保全生態）　　:「自然との付き合い方～北潟湖と向き合う～」
北川主任研究員（環境考古）:「水月湖・北潟湖の花粉分析による里山景観史復元」
福島研究員（森里海湖連環）:「里山里海湖保育（森のようちえん）の推進」

（２）第二部　和太鼓演奏と里山里海湖表彰

和太鼓演奏

太鼓で人を幸せにしようと活動している「みはまこども倖太鼓」のみなさんが、見事な太鼓演奏で「光」、「雷」、「燦」の三曲を披露しました。

ふるさと研究員認定書授与

里山里海湖研究所では、里山里海湖を「守る・学ぶ・活かす・伝える」活動に取組んでいる県民を「ふるさと研究員」として認定し、研究所との共動による体験イベントや講演活動、知恵の伝承活動などを通し、里山里海湖の活動機運を盛り上げていきます。

ふるさと研究員に認定された２９名を代表し、若狭町の大野文子さんに認定証の授与を行いました。

ふくい里山里海湖活動表彰

里山里海湖の保全・活用等に取組む活動者を顕彰することを目的として、平成２６年度から「ふくい里山里海湖活動表彰」制度を設けました。県内市町等からの推薦があった候補団体から受賞団体として決定した７団体に表彰状の授与を行いました。

受賞団体は以下のとおりです。

表彰団体名（主な活動市町）

青葉山整備の会（高浜町）
あわらの自然を愛する会（あわら市）
特定非営利活動法人中池見ねっと（敦賀市）
日本農武士ネットワーク（坂井市）
ハスプロジェクト推進協議会（若狭町）
水辺と生きものを守る農家と市民の会（越前市）
みはま YumYumPROJECT（美浜町）

うららの里山里海湖写真コンテスト

県民が福井県の素晴らしさに気づき、誇りを持てるよう、県内の里山里海湖の人と自然が互いに支え合っている景観の写真を募集してきました。知事賞に選ばれた広部紀美子さんに賞状の授与を行いました。

また、入賞作品は会場にて展示を行いました。

（３）第三部　里山里海湖トークセッション

基調講演　「里山のビジネス創出、楽しみづくり～里山資本主義の試み～」

里山里海湖研究所研究アドバイザーでもある認定NPO法人共存の森ネットワーク理事長澁澤寿一氏から、持続可能な里山の暮らしづくりについてご講演いただきました。

事例発表と意見交換

県内外で活動している４名の方から、活動事例の紹介や活動にかける思いなどを語っていただきました。

三田村美恵氏　日本農武士ネットワーク代表（坂井市）
小中真道氏　　NPO 法人くくのち副理事長（金沢市）
堂下雅晴氏　　殿下の里づくり組合事務局（福井市）
小寺春樹氏　　NPO 法人山菜の里いび理事長（岐阜県揖斐川町）

（４）その他

里の恵みの試食

嶺南各市町の団体から、自然環境や人の営みにより育まれてきた特産品や伝承料理等「里の恵み」を出店していただき、参加者に試食していただきました。

出店内容（出店者）
杉箸アカカンバの漬物　（杉箸アカカンバ生産組合：敦賀市）
シシ汁　（ＮＰＯ法人自然と共に生きる会サンガ：美浜町）
若狭小判　（米Ｃａｆｅくるり：若狭町）
エビと大豆の佃煮　（伍助のごんちゃん：若狭町）
鯖のなれずし　（たがらす我袖倶楽部：小浜市）

きのこの炊き込みごはん　（合同会社おおい夢工房：おおい町）
杜仲茶（高浜町杜仲茶生産組合：高浜町）

里山整備機械の展示実演

薪割機やウッドチッパー、組立式炭化炉といった里山整備の資機材の展示実演を行いました。参加者は資機材やそれらを用いて出来た薪、チップ、竹炭を確認したり、実際に資機材を動かしてみたりしました。なお、これら里山整備機械は研究所にて貸し出しを行っています。